

| | | | | | | | | |
|---|---|------|------|--|-------------------------------|----------|-----|----|
| 授業科目 | 国際栄養論 | | | | 単位 | 2 | | |
| 履 修 | 選択 | 関連資格 | | | ナンバリング | NT32503J | | |
| 開講年次 | 4 | 開講時期 | 後期 | 該当DP | DP1-1 DP2-1 DP3-1 DP4-2 DP5-1 | | | |
| 担当教員 | 藤和 太 | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>世界は国際化が進み、健康や食文化もグローバル化し、健康と栄養問題がますます国際的に注目されるようになった。栄養管理が優れている日本は国際社会の一員として、ますますその貢献度が期待されている。食糧供給や栄養供給の問題は単に発展途上国のみならず、先進国でも重要である。日本は、先進国ながらも子供や高齢者の低栄養問題が最近取り上げられている。食糧自給がままならない日本にとっては、各国の食料供給や健康栄養制度について十分に認識する必要がある。本講では、各国の食文化や食生活について調査し、日本の和食文化と比較する。各国の食糧供給と健康栄養政策について解説し、日本の健康栄養政策の長所をどのように国際交流や国際協力に反映できるかを検討する。また、各国の食文化体験や国際保健栄養施設を見学することを通じて、栄養健康管理の国際的視点を養う。</p> | | | | | | | |
| 学生が達成すべき行動目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 各国(モンゴル、中国、韓国、アメリカ、ブラゼル、イギリス、フランス、イタリア、イラン及びオーストラリアなど)の食文化や食生活について調べ、日本の和食文化との違いを説明できる。 2. 各国の食糧供給や健康栄養政策について理解し、日本の食料供給事情や健康栄養政策との違いを説明できる。 3. 食文化体験や国際健康栄養施設の見学により、国際健康栄養の視点から国際栄養の問題点を説明できる。 | | | | | | | |
| 達成度評価 | | | | | | | | |
| 評価と評価割合／ 評価方法 | 試験 | 小テスト | レポート | 発表(口頭、プレゼンテーション) | レポート外の提出物 | その他 | 合計 | 備考 |
| 総合評価割合 | 0 | 15 | 0 | 85 | 0 | 0 | 100 | |
| 知識・理解 (DP1-1) | | | | 15 | | | 15 | |
| 知識・理解 (DP1-2) | | | | | | | | |
| 知識・理解 (DP1-3) | | | | | | | | |
| 知識・理解 (DP1-4) | | | | | | | | |
| 思考・判断 (DP2-1) | | | | 15 | | | 15 | |
| 思考・判断 (DP2-2) | | | | | | | | |
| 関心・意欲 (DP3-1) | | | | 15 | | | 15 | |
| 関心・意欲 (DP3-2) | | | | | | | | |
| 態度(DP4-1) | | | | | | | | |
| 態度(DP4-2) | | 15 | | | | | 15 | |
| 態度 (DP4-3) | | | | | | | | |
| 技能・表現 (DP5-1) | | | | 40 | | | 40 | |
| 技能・表現 (DP5-2) | | | | | | | | |
| 技能・表現 (DP5-3) | | | | | | | | |
| 具体的な達成の目安 | | | | | | | | |
| 理想的レベル | | | | 標準的なレベル | | | | |
| 標準的レベル1～3を全て達成したうえで、栄養疫学知識を活かし、総説やメタ分析ができる。さらに国際栄養学的視点に立って、食糧の供給や健康栄養政策について問題点を捉え、問題改善への取り組みを実行できる。 | | | | <ol style="list-style-type: none"> 1. 各国の食文化や食生活について調べ、日本の和食文化との違いを説明できる。 2. 各国の食糧供給や健康栄養政策について理解し、日本の食料供給事情や健康栄養政策との違いを説明できる。 3. 食文化体験や国際健康栄養施設の見学により、国際健康栄養の視点から国際栄養の問題点を説明できる。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | | |

| 進行 | テーマ・講義内容 | 授業の運営方法 | 学習課題(予習・復習) | 予習・復習時間(分) |
|----|---|--------------------------|-------------------------------------|------------|
| 1 | テーマ:日本人の栄養健康状態と政策 我が国の栄養健康状態の推移と栄養政策について概説する。 | 講義 | 予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:該当部分の復習を行う。 | 30 30 |
| 2 | テーマ:国際栄養健康現状:保健医療分野の国際協力国際機関の取組について解説する。 | 講義 | 予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:該当部分の復習を行う。 | 30 30 |
| 3 | テーマ:モンゴルの健康栄養状態と政策: 食糧供給と健康栄養政策、食文化と栄養摂取状況について調べる。 | 講義やテーマについて調べて、議論し、発表する。 | 予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:該当部分の復習を行う。 | 30 30 |
| 4 | テーマ:中国の健康栄養状態と政策: 食糧供給と健康栄養政策、食文化と栄養摂取状況について調べる。 | 講義やテーマについて調べて、議論し、発表する。 | 予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:該当部分の復習を行う。 | 30 30 |
| 5 | テーマ:韓国の健康栄養状態と政策: 食糧供給と健康栄養政策、食文化と栄養摂取状況について調べる。 | 講義やテーマについて調べて、議論し、発表する。 | 予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:該当部分の復習を行う。 | 30 30 |
| 6 | テーマ:アメリカの健康栄養状態と政策: 食糧供給と健康栄養政策、食文化と栄養摂取状況について調べる。 | 講義やテーマについて調べて、議論し、発表する。 | 予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:該当部分の復習を行う。 | 30 30 |
| 7 | テーマ:ブラジルの健康栄養状態と政策: 食糧供給と健康栄養政策、食文化と栄養摂取状況について調べる。 | 講義やテーマについて調べて、議論し、発表する。 | 予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:該当部分の復習を行う。 | 30 30 |
| 8 | テーマ:イギリスの健康栄養状態と政策: 食糧供給と健康栄養政策、食文化と栄養摂取状況について調べる。 | 講義やテーマについて調べて、議論し、発表する。 | 予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:該当部分の復習を行う。 | 30 30 |
| 9 | テーマ:フランスの健康栄養状態と政策: 食糧供給と健康栄養政策、食文化と栄養摂取状況について調べる。 | 講義やテーマについて調べて、議論し、発表する。 | 予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:該当部分の復習を行う。 | 30 30 |
| 10 | テーマ:栄養分野の国際協力活動(1) JICA 九州で体験学習を行う | 体験学習 | 予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:該当部分の復習を行う。 | 30 30 |
| 11 | テーマ:栄養分野の国際協力活動(2) JICA 九州で体験学習のまとめを行う | 体験学習の発表を行う。 | これまでの講義内容を整理し、まとめる。 | 30 30 |
| 12 | テーマ:イタリアの健康栄養状態と政策: 食糧供給と健康栄養政策、食文化(地中海食)と栄養摂取状況について調べる。 | 講義及びテーマについて調べて、議論し、発表する。 | 予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:該当部分の復習を行う。 | 30 30 |
| 13 | テーマ:イランの健康栄養状態と政策: 食糧供給と健康栄養政策、食文化と栄養摂取状況について調べる。 | 講義及びテーマについて調べて、議論し、発表する。 | 予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:該当部分の復習を行う。 | 30 30 |
| 14 | テーマ:オーストラリアの健康栄養状態と政策: 食糧供給と健康栄養政策、食文化と栄養摂取状況について調べる。 | 講義やテーマについて調べて、議論し、発表する。 | 予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:該当部分の復習を行う。 | 30 30 |
| 15 | 総合演習(藤和)講義をまとめ、発表する。 | まとめて議論し、発表する | 調査内容のまとめと確認 | 30 30 |
| 16 | | | | |
| 17 | | | | |
| 18 | | | | |
| 19 | | | | |

| | | | | |
|-----------------------|--|--|--|--|
| 20 | | | | |
| 21 | | | | |
| 22 | | | | |
| 23 | | | | |
| 24 | | | | |
| 25 | | | | |
| 26 | | | | |
| 27 | | | | |
| 28 | | | | |
| 29 | | | | |
| 30 | | | | |
| | | | | |
| 理解に必要な予備知識や技能 | 公衆衛生学、公衆栄養学、基礎栄養学、応用栄養学、臨床栄養学及び栄養疫学に関する知識を必要とする。 | | | |
| テキスト | 公衆栄養学 2022 年版 日本栄養改善学会【監修】伊達 ちぐさ/酒井 徹【編】(医歯薬出版株式会社) | | | |
| 参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介 | 国際保健医療学(第3版) 日本国際保健医療学会編 (杏林書院) わかりやすい EBN と栄養疫学 佐々木敏 同文書院 | | | |
| 授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ | 1. 新聞や雑誌に目を通し、国際的な視点で健康栄養問題の分析力を養うこと。 2. 図書館やインターネット、データベースを利用し、講義テーマに関連する情報を検索できるよう常に心がけること。 | | | |
| 達成度評価に関するコメント | 発表の内容、小テストについては、授業の中で指示する。 プレゼンテーションの内容、小テストで評価します。 | | | |

